

調布駅前広場の樹木移植等 工事に関する説明会

日時：平成30年1月30日（火）19:00～

場所：調布市文化会館たづくり12階大会議場

次第

- 1 樹木に関する基本的な考え方
 - 2 樹木に関する工事概要
 - 3 将来に向けた取組
 - 4 質疑応答
-



1 樹木に関する基本的な考え方

既存樹木に関する主な経過～当初計画～

平成28年2月

さまざまな御意見を踏まえ「原則撤去」の方針を決定
(記念樹的な樹木については多摩川市民広場へ移植)

↓ 樹木の保全を求める御意見や要望書が提出される

平成28年11月

市民意見を踏まえシンボルや記念樹となる樹木については現位置付近に保全し、1度の移植で対応可能な樹木を移植する案を検討

↓ 更なる樹木保全に関する御意見を踏まえ再検討

平成29年2月

2度移植も含めて既存樹木の最大限の保全案を検討

平成29年3月

既存樹木の移植等に向けて平成28年度補正予算の承認
⇒市民会議の立ち上げ

既存樹木に関する主な経過～総合調整（市民会議）～

平成29年4月・5月

（仮称）調布駅前広場整備に係る市民会議を開催

市民会議で頂いた意見等

- 既存の樹木を生かすべき
- 多額な費用をかけてまで、移植等はすべきでない
- 第一小学校由来・明樹会など、記念樹的な樹木は出来るだけ残してほしい
- 伐採した樹木を、ワークショップやスプーン等材料として活用すべき
- 新たな駅前広場へ植える樹木は、イベント等の展開や歩行者に配慮した配置とすべき
- 新しい駅前広場とのバランスを考慮すべき

など

既存樹木に関する主な経過～総合調整（市民会議）～

樹木に関する市の基本的な考え方

- 1 いちようなど、第一小学校由来の象徴的樹木はできるだけ現位置付近で残せるよう工夫するとともに、それらの象徴的樹木と明樹会の樹木が記念樹であることがわかるような表示を検討する。
- 2 その他の既存樹木については、最大30本を新しい駅前広場に再活用できる現行案を基本に、市民会議で頂いた意見を踏まえ、最終的にそれらをどこまでどのように活用するか（そのまま広場内に再移植するのかもしれないのか、ベンチ等に再利用するか等）は引き続き検討する。緑豊かでほっとする憩いの場としての調布駅前の良さを新しい広場でも継承できるよう樹種の選定や配置を工夫する。
- 3 一方で、イベント開催可能なにぎわい空間の確保や、高齢者や障害者等が安全に歩行できるようにすること、大規模災害時に避難者等の待機場所となり得ることも想定し、樹木が障害とならないよう配置を工夫する。



平成29年7月
市議会及び平成29年度第1回調布駅前広場整備に関する説明会で
「樹木に関する市の基本的な考え方」を報告

既存樹木に関する主な経過～時点修正，方針確定～

平成29年12月

記念樹木を残すべく，12月議会での地下駐輪場設計変更予算の承認

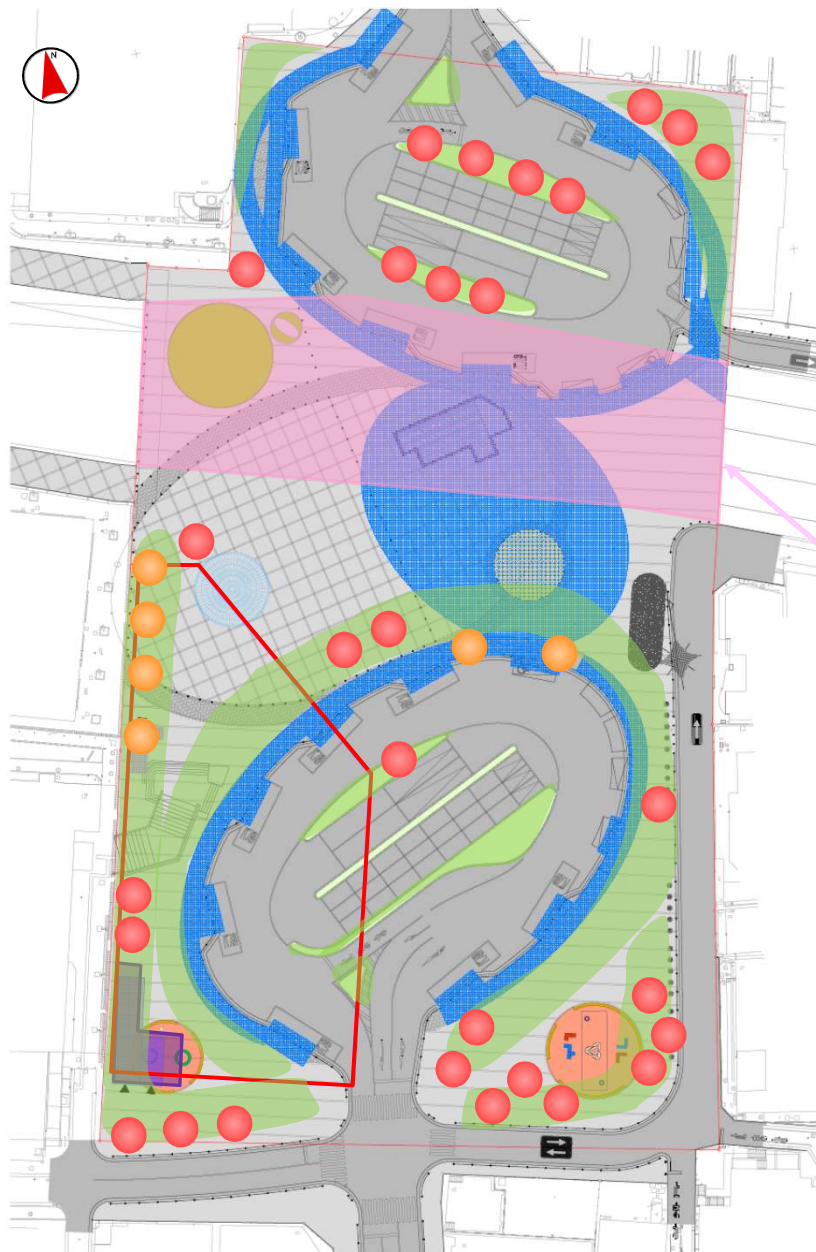
平成30年1月

平成29年度第2回調布駅前広場整備に関する説明会及び工事説明会を開催

既存樹木の対応

- 現在の位置で残す方針のもの
- 駅前広場内で直接移植して残すもの
- 一旦苗圃に移植して駅前広場に戻すもの
- 市民会議での意見等を踏まえて対応するもの
- 樹木診断を踏まえて対応するもの

調布駅前広場既存樹木配置箇所（案）



凡例

○ : 現位置保存樹木

● : 活用する樹木

○ : 樹木配置予定箇所

鉄道上部にあたるため、土被りや荷重を考慮し検討する。

※最終的な樹木の配置や樹種については、市民意見等を踏まえて検討する。